

社会の理解を拡げるための 共感力養成講座

わたしたちの暮らしは様々な自然に支えられています。次世代にそれを受け継いでいくためには、それらを守り、豊かさにつなげるために活用することの大切さを様々な立場の人に伝え、多くの人に協力してもらうことが必要です。

そのためのキーワードは「共感」。この講座では、自然再生事業や生物多様性保全を進めてきた仕掛け人を講師に招き、経験知を余すところなく提供します。また都市域でも実践可能な取り組みとして、都市公園を活用した生物多様性の保全の現場を体感します。

ひとりひとりが考えた生態系管理プランについて、講師や参加者が一緒に意見交換しながら、ブラッシュアップしていく、ワークショップ形式の2日間連続の講習会です。



写真は昨年度の実施風景

こんな
共感力が
身につきます！

- 自然再生のホントのところ
- 社会に共感される提案書の作り方と事業を進める手がかり
- 暮らしを支える自然環境保全と持続的活用を考えるヒント
- プロジェクトの問題点や解決策の整理方法

日程：2019年7月19日(金) 13:00-18:00・20日(土) 9:00-15:00

会場：八王子大学セミナーハウス (八王子市下柚木 1987-1) 八王子市長池公園 (八王子市別所 2-58)

定員：25名 (初日のみ参加5名 + 両日参加20名) 行政、NPO・NGO、研究者、学生、教員…
どんな立場の方でも大歓迎です！

(先着順 ※申し込み多数の場合、お断りすることがございます。)

参加費：10,000円 (初日のみ参加は5,000円；宿泊費・旅費・食費は含まれません)
※全日程を受講された方には日本生態学会より受講証明書を発行します。

講師



岡野隆宏

環境省自然環境局
保全再生調整官

国立公園レンジャーとして、阿蘇の草原と八重山のサンゴ礁の保全再生を担当。



白川勝信

北広島町立 芸北 高原の自然館
学芸員

フィールドミュージアムの学芸員として、山焼きや、せどやま事業を通じ、社会と自然の新しい在り方を模索中。



西田貴明

京都産業大学生命科学部
准教授

博士(理学)。民間シンクタンクにて官公庁の生物多様性の政策に関する調査研究に従事。2019年4月より現職。



高川晋一

日本自然保護協会
市民活動推進室 室長

博士(農学)。市民が主役の自然環境調査や保全行動計画づくりの支援、全国の自然観察指導員の養成を行っている。



山下慎吾

高知工科大学 非常勤講師
法政大学 兼任講師

博士(学術)。在住型研究者として、水生生物の保全研究や自然再生を進める。地域の研究発表会を毎年開催。



橋本佳延

兵庫県立人と自然の博物館
主任研究員

博士(学術)。里地里山の保全生態学が専門。兵庫県内の草原・里山保全や県市の生物多様性戦略策定にも関わる。

申込締切

2019年
7月10日(水)

詳しくは裏面を
ご覧ください！

申込 URL：

[https://www.kokuchpro.com/
event/hachioji_nagaike2019/](https://www.kokuchpro.com/event/hachioji_nagaike2019/)



主催：一般社団法人日本生態学会

協力：環境省自然環境局・日本自然保護協会・NPO 法人フュージョン長池・兵庫県立人と自然の博物館・北広島町立芸北高原の自然館

社会の理解を拓げるための共感力養成講座

あなたが後世に残したい豊かな自然を保全するためには、生物学の知識だけでは対処できない様々な課題を解決する必要があります。生態系の規模にかかわらず、保全に取り組み人たちは必要な人材、物資、資金をどのように確保・運用するかに苦心し、手探りの状態でもがいています。これらの状況を乗り越えるために、課題の整理方法や、社会からの共感を呼び込むための技術をも身につけて、生物多様性保全事業の必要性を社会と共有することで、保全活動をもう一步前進させませんか？

講座では保全・再生事業を成功に導くためのプロセスを知るとともに、社会提案に必要な情報整理・発信術を仲間とともにワークショップ形式で学びます。二日目は八王子市長池公園に訪れ、都市域にある公園における生物多様性保全の可能性について考えます。

プログラム：初日（7月19日（金））

開会あいさつおよび趣旨説明（13:00～）

橋本 佳延

（一般社団法人日本生態学会 生態系管理専門委員会 幹事/兵庫県立人と自然の博物館 主任研究員）

講習1（13:40～）

日本の自然再生の現状

岡野隆宏（環境省 自然環境局 保全再生調整官）

講習2（14:20～）

社会と自然をどう見るか：現場で求められる視点

白川勝信（北広島町立 芸北高原の自然館 主任学芸員）

演習1（15:00～）

事前ワークシートを用いた課題の共有と学び合い

ワークシートに整理された各人の生態系管理プランをグループ内で共有し、必要な要素やその調達方法、それらのマネジメントのあり方などについて相互に学び合います。

全体ファシリテーター：橋本佳延 グループファシリテーター：白川勝信、岡野隆宏、高川晋一（日本自然保護協会）、西田貴明（京都産業大学生命科学部 准教授）

演習2（16:00～17:45）

共感を喚起するコンセプトシートをつくる

事前ワークシートでまとめた要素をA3用紙1枚にわかりやすくアレンジし、自身の生態系管理プラン共感が得られるようなオリジナルの提案・説明資料を作成します。最後に、会場全体で簡単なプレゼンテーションも行います。

全体解説：西田貴明 グループファシリテーター：白川勝信、岡野隆宏、高川晋一、橋本佳延

事務連絡・宿泊説明（17:50～18:00）

2日目（7月20日（土））

生態系管理事例地見学会

八王子市長池公園

里山の文化の継承や多様な利用を目指す八王子市の都市公園のひとつ。八王子市内内の絶滅危惧植物を公園内に集め生育域外保全を実践するなどの生物多様性保全活動について、プロジェクトを展開するNPOフュージョン長池（公園指定管理者）の皆さまに現地解説いただきます。

※ 9:00開始、15:00解散を予定しています。

※ 大学セミナーハウスより長池公園まではタクシー乗合で移動します。



事前課題としてワークシートを提供いたします。ご自身の現場の課題をワークシートに記入し、事前にご提出ください。詳細は申込後にお知らせします。

初日プログラム終了後には懇親会(会費制)を予定しています。詳細は申し込み後にご案内いたします。

なお、会場での宿泊が可能です。

(※宿泊費・昼食代は受講料に含まれません。)

会場：八王子大学セミナーハウス

〒192-0372 東京都八王子市下柚木1987-1
<https://iush.jp/>

アクセス：

下記の駅より公共バスをご利用ください。降車の停留所はいずれも「野猿峠(えんとどうげ)」です。

■JR八王子駅からの場合(約25分)

八王子駅南口より「八60 南大沢駅行き」「八61 南大沢駅行き」「八63 由木折返場行き」のいずれか。

■京王線 北野駅からの場合（約15分）

北野駅北口より「八60 北野駅北口・殿ヶ谷戸經由南大沢駅行き」「八61 北野駅北口・中山經由南大沢駅行き」「八63 北野駅北口・中山經由由木折返場行き」「北03 殿ヶ谷戸經由南大沢駅行き」のいずれか。

■京王相模原線 南大沢駅からの場合（約30分）

「北03 北野駅北口行き」「八60 八王子駅南口行き」「八61 八王子駅南口行き」のいずれか。



お申し込み：

WEB https://www.kokuchpro.com/event/hachioji_nagaika2019/

FAX 079-559-2014

受講料 7/19のみ参加 5,000円 両日参加 10,000円
(初日に徴収いたします。宿泊費、移動費は含まれません。)

定員 25名(両日参加20名+初日のみ参加5名)(先着順)
締め切り：7月10日(水) 17時までにお申し込みください。

お問い合わせ：

一般社団法人日本生態学会生態系管理専門委員会

幹事：橋本佳延（兵庫県立人と自然の博物館）

TEL & FAX：079-559-2014 E-mail：quercus@hitohaku.jp

当日の連絡先：090-9215-7621（7月19日・20日のみ）

FAX お申し込みフォーム（079-559-2014）

ふりがな
お名前

性別 男・女 所属名

参加形態 両日参加（10,000円）・初日のみ（5,000円）

ご連絡先

懇親会 参加（3,000円程度を予定）・不参加

TEL

FAX

E-mail

宿泊先

大学セミナーハウスを希望する ・ 希望しない

※別途、事務局より宿泊希望者へ詳細を連絡をいたします。

志望動機・セミナーに対する期待についてお書きください。